

尾張津島

宵祭

7月25日

土曜日

午後6時から 天王川公園 小瀬川

ユネスコ無形文化遺産候補
国重要無形民俗文化財

天王祭

朝祭

7月26日

日曜日

午前8時40分から 天王川公園 小瀬川



祭事	夜 6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00
水上イベント		水上イベント(随時)							
水上花火				水上花火		水上花火			
打上げ花火									

但し、天候・出船の状況等により変更及び中止になる場合があります

天王祭のながれ 宵祭

いみだけたて
斎竹立 12日(日)

朝祭を迎える2週間前に祭に参加する各町の境に、神社より手渡された斎竹(しめ縄を張った青竹)を立て、町を清浄にします。

船分け 23日(木) ●午前8時

祭に使用する船を古式により、宵祭の2日前の早朝に風流な「くじ」で分配します。「くじ」で決められた船を車河戸に漕ぎ、屋台をのせて、祭の準備を始めます。

ち こうちまわ
稚児打廻し 24日(金) ●午後8時

天王祭船の主役を演ずる稚児には、5~7歳の男児が選ばれ、宵祭の前日夕刻、華麗なる古式衣装を着け、花鳥帽子を被り撥を肩に掛けて、車屋から肩車で供回りと共に祭船に進み、奏楽の後列を整え津島神社に向かい、稚児披露と安全を祈り拝殿前を三回打廻し、車屋に戻ります。



25日(土)

みこしとぎよ
神輿渡御 ●午前10時

宵祭・朝祭を御神覧いただくため、神輿が津島神社より供揃と共に御旅所に向かう様は優雅であります。



宵祭

7月25日(土)

午後6時から
天王川公園 (小雨決行)

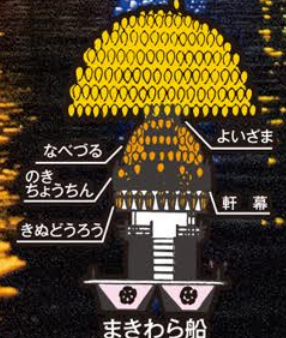
津島旧五ヶ村、今市場(いまいちば)・筏場(いかだば)・下構(しもがまえ)・堤下(とうげ)・米之座(こめのざ)から、屋形中央高く真柱(まばしら)を立て、一年の月数、その下に一年の日数、正面にひと月日数の提灯や絹灯籠など、約500個の提灯をかかげた、五艘のまきわら船が津島楽を奏でながら、円池に漕ぎ出て、灯りが川面に映るさまは、幽玄の極みであります。

六百年近くの歴史が息づくまち

天王祭の由来 「津島さん」「天王さん」と呼ばれて親しまれている「津島神社」は、1470余年もの伝統がある牛頭天王の総本社



天王祭は津島神社の祭礼として600年近く続いています。その起源には、南北朝時代に津島に逃れてきた良王親王(後醍醐天皇の尊孫で南朝方の親王)を守る津島武士が、北朝方の武士を舟遊びに誘って討ち果たしたとか、諸説ありまだ明らかではありませんが、長祿3年(1459)の記録が残されており、それ以前からおこなわれていたことは間違いありません。弘治4年(1558)信長が天王祭を見学したのを始め、豊臣秀吉や尾張藩主が頻繁に見学しています。天王祭は、古来旧暦6月14・15日に行われていましたが、昭和38年より7月第四土曜日(宵祭)翌日(朝祭)に改められ、昭和55年には国の重要無形民俗文化財に指定されました。



によいでんか
如意点火~提灯点火 ●午後7時

太鼓が鳴り響くなか、まきわら船の真柱(まばしら)に点灯する12個の提灯を競いあてあげたあと、各部分の提灯点火が進められます。

出船 ●午後8時45分

赤船に乗った神社の迎いの神職の挨拶をうけたまきわら船は、当番車から順次漕ぎ出します。



天王川公園～津島神社 朝祭プログラム

朝 8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
天王川公園	●迎え ●出船	●銚持 飛び込み ●御旅所着 稚児上陸		
	8:40	9:45	10:30	11:30
			みこし 神輿還御	●「稚児」の神前奏楽 津島神社



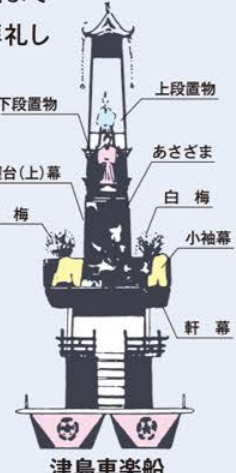
朝祭

7月26日(日)
午前8時40分から
天王川公園 (小雨決行)

明けて朝、夜中の内に様変わりした津島五車と、先頭の市江車の6艘のだんじり船は、屋台の上に等身大の能人形を飾り、古楽を奏でながら悠々と丸池に漕ぎ出て御旅所に向かう様は、王朝絵巻を見るようです。

池の中ごろまで進むと、先頭の市江車から10人の銚持(未婚の男子)が布銚を背負い池に飛び込み、御旅所まで泳ぎ着くと、神輿に拝礼し神社まで走り抜け布銚を奉納します。

この布銚から滴る水を悪い処にぬるとたちまち治るとの言い伝えがあります。



津島車楽船



朝祭 26日(日)

屋台起こし(市江車)
宵祭には参加せず、待機していた市江車では、早朝5時から屋台・人形を横に組んで、下からいっきに組み立てます。

出船 ●午前9時
赤船に乗った神社の迎えの神職の挨拶をうけただんじり船は、市江車を先頭に津島車が順次漕ぎ出します。



市江車 布銚奉納

みこしかんぎょ 神輿還御 ●午前10時30分
市江車・津島五車が御旅所に接岸し、稚児以下供回りが上陸し終わると神輿前で祭が行われた後、神輿は供揃に続き、市江車・津島五車の稚児供回りは列を整え神社に向かい、神前奏楽を奉納し、盃事を終えて各車帰途につき、朝祭は終了する。



神輿還御



稚児神前奏楽

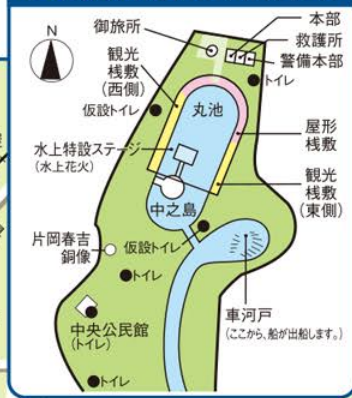


市江車の銚持が神社に奉納した布銚のしずくを患部につけると病気やケガが治るとい言い伝えがあります。

尾張津島天王祭交通案内図

交通抑制協力時間は、7月25日(土)午後6時から午後10時30分までの間です。
 駐車は  の指定以外はすべて駐車禁止です。
 ※打上げ花火実施のため天王中学校・図書館の駐車場は利用できません。

祭会場図(天王川公園)



● 事件・事故 緊急事案は 110番
 ● 自転車の 安全利用を 進めよう



● 暴力追放! 三ない運動+1の推進 「利用しない」「恐れない」「金を出さない」「交際しない」
 ● もっとみんなまで門灯を「3M運動」で街を明るく



天王祭 打ち上げ花火 協賛金募集中!!

皆様と尾張津島天王祭を盛り上げるべく 打ち上げ花火協賛金の寄附に協力をお願いします。

尾張津島天王祭打ち上げ花火推進協議会
 尾張津島市生活産業部産業振興課 TEL(0567)24-1111

- ◆お願い
- (1) 飲酒運転は絶対しないでください。
 - (2) 祭り会場内の危険区域内に絶対 立入らないでください。
 - (3) 無人飛行機等(ラジコン、ドローン等)の持ち込み、操縦・飛行、撮影等の行為は固くお断りします。
 - (4) 棧敷から物を投げないでください。
 - (5) タバコ・花火には注意してください。
 - (6) 警察官、祭り関係者及びマイク放送の注意、指示事項にご協力ください。
 - (7) 水上花火の降灰にご注意ください。

◆お帰りの最終時間(津島駅発)

■名鉄電車

名古屋方面	23時40分	須ヶ口行 (須ヶ口で急行金山行に接続)
一宮・岐阜方面	23時30分	名鉄一宮行 (一宮で特急岐阜行に接続)
佐屋・弥富方面	23時07分	弥富行
	23時52分	佐屋行

■名鉄バス・各線行先別最終時刻

名鉄バスセンター行(岩塚経由)	21:14
名鉄バスセンター行(安松経由)	21:34
地下鉄岩塚行(百町経由)	21:45
伊福行(百町経由)	22:15
中村公園(西)行(安松経由)	22:10
大治役場前行(安松経由)	23:00

※6月現在の予定ですので 当日ご確認ください。

お問い合わせ 愛知県津島市生活産業部産業振興課 ☎0567-24-1111 津島市 天王祭 検索

愛知県津島市観光協会(津島商工会議所館内) ☎0567-28-8051 津島市観光協会 天王祭 検索

ゴミ等は各自でお持ち帰りください。まつり当日は混雑しますので、電車・バスをご利用ください。